

愛知製鋼は創立85周年を迎えます ～『環境に一番やさしい鉄屋』として社会へ貢献する決意を改めて表明～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、3月8日（土）に創立85周年を迎えるにあたり、本日記念式典を開催しました。社長の後藤からは、創立85周年を迎えられたことに対する感謝の念と、創業の精神「よきクルマは、よきハガネから。」を現代のミッション「よき社会は、よき素材から。」に進化させ、『環境に一番やさしい鉄屋』として社会に貢献する企業を目指す強い決意が伝えられました。

【社長挨拶(要旨)】

まずは、創立85周年という記念すべき節目の年を迎えられたことに対し、これまで当社を支えていただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

当社は1940年3月8日に、創業者・豊田喜一郎の熱い想いのもと国産大衆車に必要な鋼をゼロからつくる高い志によって生まれた会社です。厳しい環境変化の中での諸先輩の熱い想い、汗と涙の積み重ねで今の愛知製鋼があり、我々はそのような歴史あるDNAを引き継いでいます。

当社を取り巻く環境が大きく変わる中においても、『環境に一番やさしい鉄屋』としてお客様のお役に立ち続け、未来へ向かい成長を続ける企業でありたいと、強く想っています。その実現を目指し、2つの柱を中心に据え、全社で取り組みを進めてまいります。

この先も存続・発展し続けるために、全社員が一丸となって、この環境を「本気で」戦い抜き、今いる私たちはもちろんのこと、未来の社員が笑顔で働ける会社づくりを進めてまいります。

2つの柱

① 成長戦略「[2024-26年度中期経営計画アップデート](#)」

克服しなければならない課題に、スピード感をもって真っ当に対応するという心構えを一人ひとりが持ち、徹底的な真因追求・真の問題解決に拘った仕事に取り組んでいきます。

② 人材育成や、職場環境改善等の「人への投資」

社員がよりイキイキ働ける職場づくりに向け、リーダーへの研修や、年代に関わらず働きやすいと感じられる職場環境の整備に取り組んでいきます。